



2016年度 決算

(2016年4月～2017年3月)

2017年5月10日

塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 手代木 功





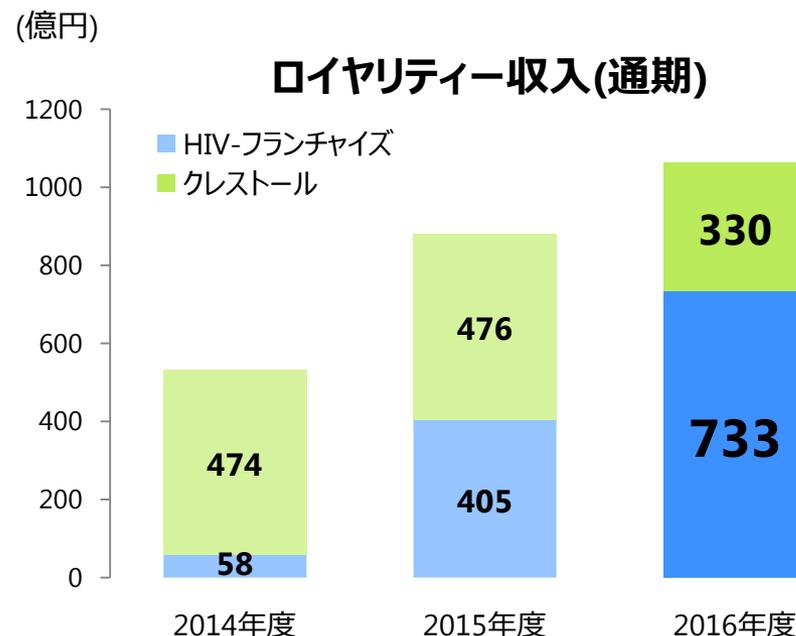
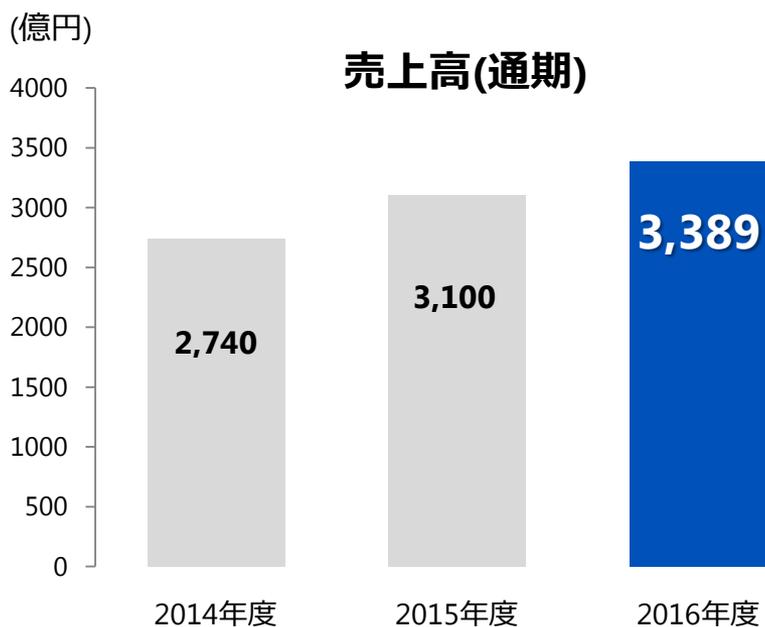
2016年度 決算の概要

決算ハイライト① トップラインが継続的に成長

2年連続
増収

◆ 売上高： **3,389億円**（対前年 +9.3%）

◆ ロイヤリティー収入*： **1,063億円**（対前年 +20.7%）
（HIVフランチャイズの販売拡大により前年を大きく上回る）



決算ハイライト② 各利益は過去最高



◆ 営業利益： **1,082億円** (対前年 +18.3%)

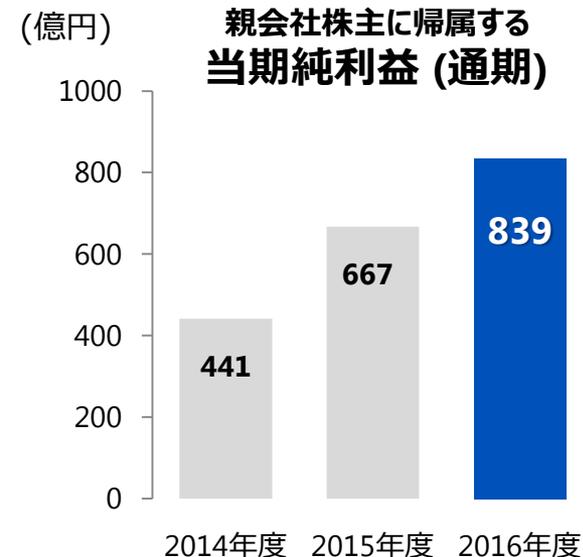
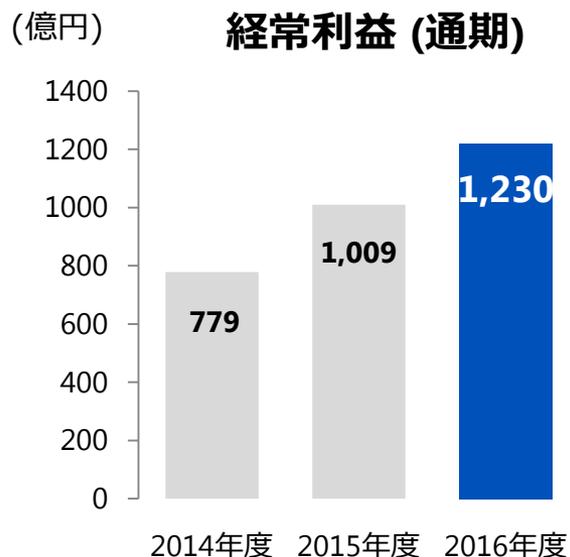
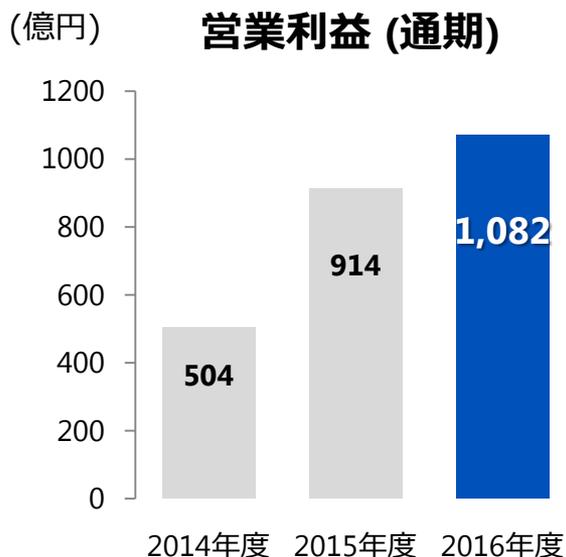
2年連続
過去最高

◆ 経常利益： **1,230億円** (対前年 +22.0%)

5年連続
過去最高

◆ 親会社株主に帰属する
当期純利益： **839億円** (対前年 +25.8%)

4年ぶり
過去最高



決算ハイライト③ KPI - 2016年度の結果 -



成長性 KPI

- 新製品売上* : **439億円** (2,000億円)
(対前年 +11.7%)
- 経常利益 : **1,230億円** (1,500億円)

効率性 KPI

- ROIC** : **13.3%** (13.5%以上)
- CCC*** : **6.7カ月** (5.5カ月)
- 自社創薬比率 : **68.2%** (50%以上)

株主還元 KPI

- ROE : **16.3%** (15.0%以上)
- DOE : **4.5%** (4.0%以上)

括弧内は2020年度目標

連結経営成績



(単位：億円)

	2016年度			2015年度	対前年
	通期予想	通期実績	進捗率	通期実績	UP率
売上高	3,340	3,389	101.5%	3,100	9.3%
営業利益	975	1,082	111.0%	914	18.3%
経常利益	1,055	1,230	116.6%	1,009	22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	760	839	110.4%	667	25.8%

予算精度の向上

年度	2013	2014	2015	2016
予算達成	○*	◎	◎	◎

◎ 売上高、各利益の予算をすべて達成

○ 売上高、各利益の予算の何れかを達成

*2013年度は当期純利益のみ未達（達成率 97.2%）

為替レート (期中平均)	2016年度 前提	2016年度 実績
ドル	105円	108.39円
ポンド	140円	141.62円
ユーロ	120円	118.80円

事業別・製商品別売上高



(単位：億円)

	通期 予想	2016年度 実績	対予算 達成率 (%)	2015年度 実績	対前年 UP率 (%)
国内医療用医薬品	1,602	1,580	98.6	1,621	△2.5
クレストール®	429	431	100.5	437	△1.4
サインバルタ®	193	190	98.6	152	25.0
イルベタン®類	158	153	96.9	157	△2.6
戦略3品目 合計	779	774	99.3	746	3.7
オキシコンチン®類	99	97	97.7	100	△3.7
フィニボックス®	36	33	90.9	38	△12.8
ピレスパ®	60	58	97.3	60	△2.6
ラピアクタ®	23	29	123.9	20	41.4
戦略7品目 合計	998	991	99.3	965	2.7
(7品目売上高比率)	62.3%	62.7%		59.5%	
海外子会社/輸出	248	292	117.8	297	△1.7
シオノギ Inc.	136	179	131.1	166	7.4
Osphena®	48	47	98.8	48	△2.1
製造受託	124	121	97.8	84	43.4
一般用医薬品	70	68	96.7	49	39.5
ロイヤリティー収入	1,123	1,157	103.0	1,018	13.6
(うちクレストール®およびHIVフランチャイズ)	1,030	1,063	103.2	881	20.7
クレストール®	328	330	100.8	476	△30.6
HIVフランチャイズ	702	733	104.4	405	81.1
その他	172	171	99.1	30	469.7
合計	3,340	3,389	101.5	3,100	9.3

◆ 対前年比較

国内医療用医薬品

- 薬価引き下げおよび長期収載品24品目の移管に伴う売上減
- 戦略品目は伸長し、戦略7品目売上高比率が増加
 - クレストール®：OD錠の発売、採用軒数増
 - サインバルタ®：うつ領域の伸長、痛み領域の認知度拡大（リソースの集中投下、製品価値の最大化）

海外子会社/輸出

米国事業

- Osphena®の処方箋枚数が順調に増加
- オーツライズドジェネリックのロイヤリティー収入が増加

ロイヤリティー収入

HIVフランチャイズ：順調に拡大

その他

長期収載品の移管に係る対価を受領

損益計算書



(単位：億円)

	通期 予想	2016年度 実績	対予算 達成率 (%)	2015年度 実績	対前年 UP率 (%)
売上高	3,340	3,389	101.5	3,100	9.3
(ロイヤリティー*収入)	1,030	1,063	103.2	881	20.7
	23.4 (33.8)	23.0 (33.4)		24.1 (33.7)	
売上原価	780	778	99.7	748	4.0
販売費・ 一般管理費	47.5	45.1		46.4	
	1,585	1,529	96.5	1,438	6.3
	29.3	27.5		30.3	
販売・管理費	980	930	94.9	940	△1.1
	18.1	17.7		16.1	
研究開発費	605	599	99.0	498	20.3
	29.2	31.9		29.5	
営業利益 (ロイヤリティー*収入を除く)	975	1,082	111.0	914	18.3
	△55	19	-	33	-
営業外収支	P80	P149	185.7	P95	57.0
	31.6	36.3		32.5	
経常利益	1,055	1,230	116.6	1,009	22.0

◆ 対前年比較

売上原価

売上原価率の改善

- サインバルタ®の売上拡大、原価削減
- ロイヤリティー収入の拡大および長期収載品の移管に係る対価を受領

販売費・一般管理費

トータルコストマネジメント

- S-033188等の成長ドライバーへの投資を含め、研究開発費を増加（前年比 +20.3%）させた一方、厳格にトータルコストをコントロール（前年比 +6.3%）

営業外収支

ViiV社からの配当（前年比 +68億円）

- 通常配当に加えて臨時配当金を受取

2016年度パイプライン進捗目標と実績



領域	開発品	2016年4月1日時点	2016年度目標
感染症	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症	グローバル : Phase II、III	米国 : 申請準備 米国 : 院内肺炎試験開始
	S-033188 インフルエンザ感染症	日本 : Phase II 米国 : Phase I	日本 : Phase II 完了 米国 : Phase I 完了 グローバル : Phase III 開始、日本 : Phase III(小児)開始
疼痛神経	グアンファシン 小児ADHD	日本 : 申請	日本 : 承認
	サインバルタ® 変形性関節症に伴う疼痛	日本 : 申請	日本 : 承認
	ナルデメジン オピオイド誘発性便秘症	日本・米国 : 申請	日本・米国 : 承認 欧州 : 申請
	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	日本 : Phase III	日本 : 申請
	オキシコドン 乱用防止製剤	日本 : Phase I 完了	日本 : 申請
	リスデキサンフェタミン 小児ADHD	日本 : Phase III	日本 : Phase III完了
代謝性疾患	S-237648 肥満症	日本 : Phase II	日本 : Phase II 完了 米国 : Phase I 開始
フロンティア疾患	ルストロンボバグ 慢性肝疾患による血小板減少症	グローバル : Phase III	グローバル : Phase III
	S-222611 悪性腫瘍	欧州 : Phase I/II	欧州 : Phase I/II 完了



2017年度 ビジネスプラン

2017年度の基本戦略

- シオノギを取り巻く事業環境の変化に対し、「**新製品の強化・拡大**」によりチャレンジを乗り越え、増収増益を達成する
- 成長ドライバーのグローバル開発を継続的に推進し、持続的な成長をより確かなものにする

定性目標

- 「稼ぐ力」の強化 : 組織横断的な連携による営業アライアンスの活用
- 選択と集中 : 成長ドライバーへの経営資源の集中

**2017年度はupdated SGS2020を達成するための
次のステージに向かう最初の一年**

業績予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	3,400	1,625	3,389	0.3	11
営業利益	1,125	460	1,082	4.0	43
経常利益	1,235	515	1,230	0.4	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	920	385	839	9.7	81

為替レート (期中平均)	2017年度 前提	2016年度 実績
ドル	110.0円	108.39円
ポンド	140.0円	141.62円
ユーロ	120.0円	118.80円

事業別売上高予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
国内医療用医薬品	1,439	752	1,580	△8.9	△141
海外子会社/輸出	254	123	292	△13.1	△38
シオノギ Inc.	120	60	179	△32.8	△59
Osphena [®]	46	22	47	△3.1	△1
製造受託	153	79	121	26.1	32
一般用医薬品	75	34	68	10.6	7
ロイヤリティー収入	1,450	623	1,157	25.4	294
(うち Crestor [®] および HIVフランチャイズ)	1,250	564	1,063	17.6	187
Crestor [®]	220	110	330	△33.4	△110
HIVフランチャイズ	1,030	454	733	40.5	297
その他	29	14	171	△83.1	△142
合計	3,400	1,625	3,389	0.3	11

国内医療用医薬品予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
サインバルタ [®]	253	111	190	33.2	63
インチュニブ [®]	6	3	-	-	6
スインプロイク [®]	4	1	-	-	4
戦略品 合計	263	115	190	38.4	73
アシテア [®]	1	0	1	66.8	1
ムルプレタ [®]	2	1	1	32.1	0
ピレスパ [®]	60	31	58	2.1	1
オキシコンチン [®] 類	89	46	97	△ 8.2	△ 8
ラピアクタ [®]	28	1	29	△ 3.4	△ 1
ブライトポック [®]	9	1	10	△ 5.9	△ 1
グラッシュビスタ [®]	7	3	6	24.8	1
新製品 合計	458	199	391	17.1	67
クレストール計	364	247	431	△ 15.6	△ 67
イルベタン類	148	76	153	△ 3.1	△ 5
その他国内医療用医薬品	469	230	605	△ 22.5	△ 136
国内医療用医薬品	1,439	752	1,580	△ 8.9	△ 141

損益計算書予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	3,400	1,625	3,389	0.3	11
(ロイヤリティー*収入)	1,250	560	1,063	17.6	187
	22.5 (35.6)	24.9 (38.0)	23.0 (33.4)		
売上原価	765	405	778	△1.6	△13
売上総利益	2,635	1,220	2,611	0.9	24
販売費・ 一般管理費	44.4	46.8	45.1		
	1,510	760	1,529	△1.3	△19
販売・管理費	990	485	930	6.4	60
研究開発費	520	275	599	△13.2	△79
	33.1	28.3	31.9		
営業利益 (ロイヤリティー*収入を除く)	1,125 △125	460 △100	1,082 19	4.0 -	43 △144
営業外収支	P110	P55	P149	△25.9	△39
	36.3	31.7	36.3		
経常利益	1,235	515	1,230	0.4	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	920	385	839	9.7	81

KPI - 2017年度の目標 -



成長性 KPI

- 新製品売上：**531億円** (2,000億円)
(対前年 +20.7%)
- 経常利益：**1,235億円** (1,500億円)

効率性 KPI

- ROIC：**13.4%** (13.5%以上)
- CCC：**6.3ヵ月** (5.5ヵ月)
- 自社創薬比率：**50%以上** (50%以上)

株主還元 KPI

- ROE：**16.3%** (15.0%以上)
- DOE：**4.3%** (4.0%以上)

括弧内は2020年度目標

2017年度パイプライン進捗目標と実績 (2017年5月時点)



領域	開発品	2017年4月1日時点	2017年度目標
感染症	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症	米国：申請準備	米国：申請
	S-033188 インフルエンザ感染症	グローバル：Phase III 日本：Phase III(小児)	日本：申請
疼痛神経	インチュイブ® 小児ADHD	日本：承認	日本：発売
	スインプロイク® オピオイド誘発性便秘症	日本：承認	日本：発売
	Symproic® オピオイド誘発性便秘症	米国：承認	米国：発売
	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	日本：申請	日本：承認
	オキシコドン 乱用防止製剤	日本：申請	日本：承認
	リスデキサンフェタミン 小児ADHD	日本：申請準備	日本：申請
	S-600918 神経障害性疼痛	日本：Phase I	地域未定：Phase II
	ルストロンボパグ 慢性肝疾患による血小板減少症	グローバル：Phase III	米国、欧州：申請
フロンティア疾患	アシテア® 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)	日本：申請	日本：承認

株主還元について

利益配分等に関する基本方針



- 引き続き、株主還元、成長への投資、戦略的事業投資のバランスをとりながら、企業価値の最大化を図るとともに、自己株式の取得も含め、中長期的な利益成長を共に実感いただける株主還元施策を推進
- 2016年度配当：期末配当を**34円⇒38円**に変更 **(5年連続増配予定)**
(総還元性向：69.1%)
- 2017年度配当：1株当たり76円を予定

年度	1株当たり配当金			DOE	ROE
	中間	期末	年間		
2015	円 銭 28.00	円 銭 34.00	円 銭 62.00	4.1%	13.6%
2016	34.00	(予定) 38.00	(予定) 72.00	4.5%	16.3%
2017	(予定) 38.00	(予定) 38.00	(予定) 76.00	(予想) 4.3%	(予想) 16.3%

Appendix

- 開発品の進展 -

パイプラインの状況 (2017年5月現在)



非臨床	Phase I	Phase II	Phase III	申請
	海外開発品	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 S-120083 炎症性疼痛 S-707106 2型糖尿病 S-488210 頭頸部がん S-222611 悪性腫瘍 S-588410 膀胱がん	S-033188 インフルエンザ感染症 Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 ルストロンボパグ 慢性肝疾患による血小板減少症	ナルデメジン (欧州) オピオイド誘発性便秘症
抗緑膿菌抗体 中枢性神経障害性疼痛 肥満症 LCM創薬 吸入剤	S-117957 不眠症 S-237648 肥満症			
	国内開発品	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 S-237648 肥満症 S-525606 スギ抗原によるアレルギー性鼻炎 S-588410 膀胱がん	S-033188 インフルエンザ感染症 S-033188 インフルエンザ感染症(小児) Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 グアンファシン 成人ADHD S-588410 食道がん	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛 オキシコドン 乱用防止製剤 リスデキサンフェタミン 小児ADHD アシデア® 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)
アウトライセンス Janssen/シオノギプロジェ クト化合物 アルツハイマー病	GSK3342830 多剤耐性グラム陰性菌感染症		DTG+RPV HIV感染症 DTG+3TC HIV感染症 CAB 持続性注射製剤 HIV感染予防 CAB+RPV 持続性注射製剤 HIV感染症 Janssen/シオノギβセクレターゼ^α 阻害薬 アルツハイマー病 オスフィーナ® 閉経後陰萎縮症に伴う膣乾燥感	感染症 疼痛・神経 代謝性疾患 フロンティア疾患

将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。